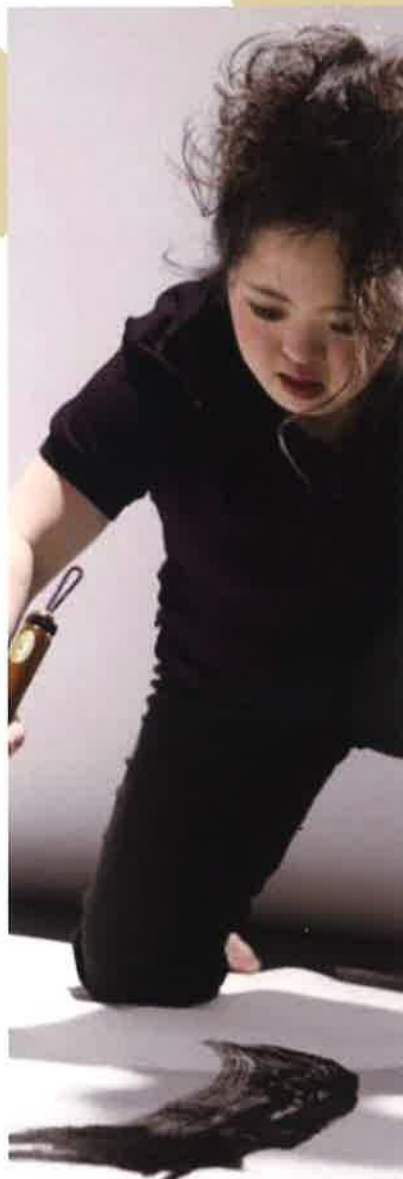


書家

金澤翔子 席上揮毫



金澤翔子はダウン症の天才書家。母泰子さんの献身的な努力を得て、2005年に20歳で書家としてデビューしました。その後、東大寺、中尊寺、厳島神社などをはじめ、全国各地で個展や奉納揮毫を開催。2012年のNHK大河ドラマ「平清盛」のタイトル題字を手がけ、2013年に国体開会式において巨大文字を揮毫、ニューヨーク・チェコでも個展を開催するなど、その活躍の場を広げる。

金澤泰子 講演会



金澤翔子の母。1943年生まれ、明治大学卒業。書家の柳田流家元に師事。1990年、東京・大田区で「久が原書道教室」を開設。久が原書道教室主宰。東京芸術大学評議員。日本福祉大学客員教授。著書に「天使の正体」(かまくら春秋社)、「涙の般若心経」(世界文化社)、「心は天につながっている」(PHP研究所)など。

【日時】 2017年 **2月9日** [木] 開演 18:30 (開場 18:00)

【場所】 ホルトホール大分 大ホール 全席自由 **2,000円** (税込)

主催 / 大分ライオンズクラブ

【学生】1,000円 (税込)

後援 / 大分合同新聞社・OBS大分放送・TOSテレビ大分・OAB大分朝日放送、エフエム大分

【お問い合わせ】 大分ライオンズクラブ 事務局 大分市新築町2-4 TEL.097-547-7180

大分ライオンズクラブ

検索

